

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年4月28日(2025.4.28)

【公開番号】特開2025-64671(P2025-64671A)

【公開日】令和7年4月17日(2025.4.17)

【年通号数】公開公報(特許)2025-070

【出願番号】特願2023-174597(P2023-174597)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 620

A 63 F 5/04 602D

A 63 F 5/04 611B

A 63 F 5/04 651

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月18日(2025.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の制御に関わる所定の電子部品が実装された制御基板と、

前記制御基板を収容する透明な基板ケースと、を備え、

前記基板ケースは、

前記所定の電子部品に対向する箇所が前記所定の電子部品側に凹となる面落ち部と、

前記面落ち部に連続し、前記所定の電子部品の第1の側面と第2の側面とのそれぞれに対

向する位置に、前記面落ち部の底部に平行な断面形状がコ字状に形成された突出片と、

前記面落ち部の側壁に連続するリブと、

前記面落ち部を有する第1ケースと、前記制御基板における前記所定の電子部品が実装される面と反対側の面に対向する第2ケースと、を有し、

前記第1ケースは、前記第2ケースに対して前記面落ち部が形成された面に略平行な第1方向にスライドさせることで前記第2ケースに係合され、

前記リブは、前記第1方向と略直交する方向に突出する形状で立設されており、

前記基板ケースは、前記面落ち部が形成された正面板を有し、

前記正面板の前記面落ち部以外の領域には、少なくとも第1の貼付部材、第2の貼付部材が貼付される貼付領域が設けられ、

前記第1の貼付部材と、前記第2の貼付部材との大きさがそれぞれ異なり、

前記正面板の各前記貼付領域には、各貼付部材の貼付面の逆側へ凹となり、各貼付部材に応じた大きさの貼付部材用面落ち部が形成されており、

前記突出片は、前記面落ち部と前記所定の電子部品が対向する方向において、前記所定の電子部品と重ならない位置に配置されている、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【0002】

従来から制御基板へ不正にアクセスされないように、セキュリティを高めた基板ケースを備える遊技機が知られている（例えば、特許文献1参照）。このような基板ケースは、壊さない限り制御用ROMを交換できないように構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2008-55112号公報

10

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、このような基板ケースは、制御基板へのアクセスのみならず、制御基板に実装されたCPU(Central Processing Unit)チップに対するセキュリティを高めることが求められている。

20

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、CPUチップに対する不正を防止すると共に、CPUチップに不正が行われたことを早期に発見することができる遊技機を提供することを目的とする。

30

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、本実施形態に係る遊技機によれば、以下の遊技機を提供する。

遊技の制御に関わる所定の電子部品（例えば、CPUチップ611）が実装された制御基板（例えば、主制御基板610）と、

前記制御基板を収容する透明な基板ケース（例えば、主基板ケース620）と、を備え、前記基板ケースは、

前記所定の電子部品に対向する箇所が前記所定の電子部品側に凹となる面落ち部（例えば、面落ち部643）と、

前記面落ち部に連続し、前記所定の電子部品の第1の側面と第2の側面とのそれぞれに対向する位置に、前記面落ち部の底部に平行な断面形状がコ字状に形成された突出片（例えば、突出片669）と、

前記面落ち部の側壁に連続するリブ（例えば、リブ670aなど）と、

前記面落ち部を有する第1ケース（例えば、上ケース622）と、前記制御基板における前記所定の電子部品が実装される面と反対側の面に対向する第2ケース（例えば、下ケース621）と、を有し、

40

50

前記第1ケースは、前記第2ケースに対して前記面落ち部が形成された面に略平行な第1方向(例えば、左右方向)にスライドさせることで前記第2ケースに係合され、
前記リブは、前記第1方向と略直交する方向に突出する形状で立設されており、
前記基板ケースは、前記面落ち部が形成された正面板を有し、
前記正面板の前記面落ち部以外の領域には、少なくとも第1の貼付部材、第2の貼付部材が貼付される貼付領域が設けられ、
前記第1の貼付部材と、前記第2の貼付部材との大きさがそれぞれ異なり、
前記正面板の各前記貼付領域には、各貼付部材の貼付面の逆側へ凹となり、各貼付部材に応じた大きさの貼付部材用面落ち部が形成されており、
前記突出片は、前記面落ち部と前記所定の電子部品が対向する方向において、前記所定の電子部品と重ならない位置に配置されている、遊技機。
10

このような構成によれば、所定の制御部品に対する不正を防止すると共に、所定の制御部品に不正が行われたことを早期に発見することができる。また、突出片を有するため、所定の電子部品の第1の側面と第2の側面から所定の電子部品に不正にアクセスすることを防止することができる。また、突出片の面落ち部の底部に平行な断面形状がコ字状に形成されているため、突出片自体の強度を高めることができる。したがって、不正を行う目的で突出片を破壊することを防止或いは抑制することができる。また、面落ち部の側壁に連続するリブを有するため、面落ち部の側壁の破損や変形を抑制或いは防止することができる。

なお、以下の構成などをさらに備える遊技機であってもよい。

20

30

40

50